

安全衛生・兵庫

ハチ刺され災害を防ごう！

日本では毎年20人前後の人たちがハチに刺されて命を落としています。人間の生命を脅かす自然界の生き物としては毒ヘビや熊よりも危険と言われていきます。要注意の時期は、5月頃から飛び始めて、巣ができるのは7月に入ってから。7月から10月ぐらいが危険な時期です。特に刺すハチの中で怖いのは、**スズメバチ**と**アシナガバチ**です。まずはハチの習性を知り刺されないことが肝要です。

1 ハチの習性を知ろう！

ハチはすべて子供を守るために刺します。巣が近くになれば掴みでもしないかぎり決して刺しません。まず巣に近づかないことです。ハチが斜めに空に向かって飛び時や上空を大きく旋回しているような時は、そばに巣があることが多いです。

もし、うっかりハチの巣を刺激してしまい安全な距離がとれない時は、地面に伏せて体勢をなるべく低くし、動かないことです。

2 ハチに刺されない対策

- ・ 白い衣服を着る。
- ・ 身を低くする。
- ・ 整髪料、香水を付けない。
- ・ ハチに遭遇したら後ろにゆっくり下がりがりながら逃げる。
- ・ ハチの巣に近づかない、揺すらない。
- ・ 手で払わない。



3 刺された場合の対処

- ・ すぐに毒を絞り出し(口で吸い出さず、指でつねって絞り出す、吸引器ポイズンリムーバー使用)。
- ・ 良く水で洗って冷やす(毒の回りを遅くする)。
- ・ 抗ヒスタミン軟膏等を塗布。(アンモニアは効かない)。
- ・ 全身症状(蕁麻疹、顔面の腫れ、吐気、嘔吐、呼吸困難、動悸等)、自動注射器使用判定基準表「中程度以上」のショック症状が現れたと判断した場合等に、自己注射をする。
- ・ 同僚等は、署へ連絡し、被災者を医療機関へ移送する。

自分はハチに強いから大丈夫と侮ってはいけません。刺されないことはもちろんのこと、万が一刺された場合には、安静にして様子を観察し、冷静な対応が必要です。

保護具の完全着用・自動注射器を携行しよう

平成二三年度全国安全週間

◆ 期間

平成23年7月1日～7日

◆ 準備期間

平成23年6月1日～30日

◆ スローガン

「安全は家族の願い企業の礎

創ろう元気な日本！」

◆ 国有林野事業スローガン

「安全はいかなる時も最優先

過去の事例を思い出し

基本を守って安全作業!!!」



交差点はつきり。しっかりと安全確認運動

交通事故は交差点及び交差点付近で多発しています。信号機のある交差点では「黄色信号での安全な停止(イエローストップ)」の励行及び信号機のない交差点では確実な安全確認を実践し、交差点及び交差点付近での交通事故を防止しましょう。

● 車両運転中に事故を起こさないために

- ・ 信号を守ることはもちろんのこと、黄色信号で止まりましょう。
- ・ 交差点付近では信号や周囲の状況を特に注意するとともに、右左折時には安全確認を確実にしましょう。
- ・ 緊急に停止するときは、ハザードランプ等を点灯するなど、後続車に注意を喚起すること、追突事故を防止しましょう。

やさしさと笑顔で走る 兵庫の道

梅雨時の健康管理

■ 衣服の調節

蒸し暑い日があると思えば、雨が降り急に肌寒くなることも。衣服の調節で体調を維持しましょう。

■ 食中毒に注意

食中毒が増える時期。帰宅時や食事前の手洗いを忘れずにしましょう。



この花なあに？

発行 兵庫森林管理署 安全衛生委員会